

(報道各社への取材の御案内)

来年は「明治 150 年」・・・明治のうきはを偲ぶ (第 1 回)



平成 30 年 (2018 年) は、明治元年 (1868 年) から起算して満 150 年に当たります。政府では、①「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」、②「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」、③「明治 150 年に向けた機運を高めしていく施策」の 3 つを柱として、全国で「明治 150 年」に関連する多様な取組が推進されるよう機運の醸成が図られています。

この機会に、当地うきはの明治に関わる人物・出来事などを紹介します。

～ 明治元年、小塩生まれの行政官 ～

□ 佐藤 孝三郎 (さとう・こうざぶろう) 氏

明治元年 (1868)、小塩村 (現・浮羽町小塩) 生まれ。

福岡師範学校卒業、浮羽郡市杵高等小学校で教鞭をとる。

上京後、東京専門学校修了、高等文官試験に合格。

内務省に入り、福井県知事・名古屋市長・函館市長等の要職を歴任。

昭和 44 年 (1969) 逝去。

子息の佐藤達夫 (さとう・たつお) 氏 (1904-1974) は法制官僚として戦後、日本国憲法制定に関わり、後に法制局長官や人事院総裁を務めた。



↓

～ ふるさと小塩を想い、尊敬を集めた人 ～



孝三郎氏は高岳の号 (小塩の高井ヶ岳にちなむ) をもち、和歌に秀れた

◀ 写真左: 小塩・真美野 (まみの) 神社境内に同氏の歌碑

「帰りに来て 千年川へに 吾たては まねくか如し 錦屏の峰」

※小塩小学校のため長年援助された同氏の功績を記念するため、昭和 27 年には父母教師会が校庭に二宮尊徳の石像を建設した。

編集: うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2017. 11. 18 発表 / 来年は「明治 150 年」・・・明治のうきはを偲ぶ (第 1 回: 明治元年生まれの行政官、佐藤孝三郎氏)